

襲名100周年記念

六世竹本土佐太夫

—浄瑠璃語りは安田から—



「六世竹本土佐太夫 昭和5(1930)年1月文楽座にて」(安田町教育委員会蔵)

令和6年
7月27日(土) 11月4日(月) 前期
令和7年
11月6日(水) 3月9日(日) 後期

場所 安田まちなみ交流館・和

住所 高知県安芸郡安田町大字安田1674番地1

時間 9時〜17時(最終入館16時30分)

観覧料 2000円(高校生以下および障害者手帳提示者等は無料)

休館日 火曜日(祝日の場合その翌営業日)

年末年始(12月28日〜1月2日)

「浄瑠璃語りと西畑人形の解説」

講師：竹本美園氏
西畑人形保存会の皆さん
日時：11月10日(日) 14:00〜
場所：安田まちなみ交流館・和

事前に「安田まちなみ交流館和」まで
お申込みください

参加費 200円 定員 30人

関連イベント



主催 安田町、安田町教育委員会
後援 株式会社東京映画社、高知新聞社、NHK高知放送局、
RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、エフエム高知

【お問い合わせ】

安田まちなみ交流館・和 TEL/FAX 0887-38-3047
e-mail info@yasuda-nagomi.com HP https://yasuda-nagomi.com/

六世竹本土佐太夫

—浄瑠璃語りは安田から—

江戸時代から人気であった人形浄瑠璃(文楽)において、明治から昭和にかけて活躍した六世竹本土佐太夫(南馬太郎)は、安田の農家に生まれました。まるで太夫になるべくして生まれたかのよう

に、馬太郎の人生は不思議な運命の巡り合わせの連続でした。父が始めた商売のため高知に移った馬太郎は、奉公先で浄瑠璃に出会います。その後縁あって上京し、浄瑠璃好きの後藤象二郎に才能を見出されますが、象二郎からの援助を断り大隅太夫へ入門、その後瀕死の病を乗り越え伊達太夫となります。人気を得て目覚ましく出世した馬太郎は、大正13(1924)年六世竹本土佐太夫を襲名し、押しも押されもしない重鎮としての位置を占めることとなりました。

馬太郎が土佐太夫を襲名して100周年となる令和6年、改めて六世竹本土佐太夫の魅力をここに紹介・展示します。



「土佐太夫襲名披露 大正13(1924)年9月」(安田町教育委員会蔵)

「三勝半七艶姿女舞衣」酒屋の段
昭和3(1928)年11月以降に録音されたものと推定。



土佐太夫のSPレコード
(今井章博氏蔵)



「土佐太夫家族写真 明治30(1897)年前後推定」
(安田町教育委員会蔵)



「土佐太夫襲名時色紙 大正13(1924)年9月」前期展示
(安田町教育委員会蔵)



「土佐太夫文楽座引退時色紙 昭和12(1937)年」後期展示
(安田町教育委員会蔵)

土佐太夫を襲名した際に書き、後援者に配布した。

土佐太夫が文楽座を引退した際に書いた。



安田まちなみ交流館・和 (なごみ)

住所 / 高知県安芸郡安田町大字安田1674番地1
時間 / 9:00~17:00 (最終入館16:30)
休館日 / 火曜日 (祝日の場合その翌営業日)・年末年始 (12/28~1/2)
TEL.FAX.0887-38-3047

[Access] 高知ICから車で90分
土佐くろしお鉄道安田駅から車で5分
●90-minute drive from KOCHI IC
●5-minute drive from Yasuda Sta.



NAGOMI Web